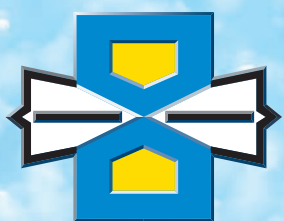


はちろうがた

令和7年4月1日発行

第163号



# 議会だより

発行：八郎潟町議会 編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80 TEL 018-875-5810

3月定例会

## 中学校卒業式



## 小学校卒業式

### 目次

- 2～3 …… 新議員の抱負／第1回・第2回臨時会
- 4～5 …… 3月定例会
- 6～12 …… 一般質問
- 13 …… 3月定例会提出議案結果報告
- 14～15 …… 各常任委員会／予算特別委員会
- 16 …… 陳情／議会の動き／編集後記





# 新議員の抱負



副議長 小柳 聡

議会を牽引する役割を担い、行動と提言で町を前進させていく。



議長 柳田 裕平

議員の総力を結集して、町民から信頼される町議会を目指します。



京極 幸村

謙虚に誠実に  
行動力は加速して



加藤千代美

抱負  
「町民の豊かな生活を創る」  
座右の銘  
「他者のために自己を磨く」



小野 千春

サーバント（仕える）リーダーとして議員の職務を全うする。



村井 智

町民生活の向上と安寧



松田真寿美

与えていただいた議席を大事にし、町民の声を町政に届けます。



伊藤 章

議席を与えられた責任を全うするため、初志貫徹精神で頑張る。



小林 響騎

世のため人のために尽くすことが結果として自分の幸せにつながる。



野原 静雄

町民皆の「不便・不安を無くする」ために、皆で考え、行動する。



小柳 鉄秀

次の世代のため、住みよいまちづくりに取り組んでまいります。



畠山 一充

町民主体を念頭に奉仕と福祉の心で日々、努力いたします。

## 第1回臨時会

令和7年1月17日に第1回臨時会が開催

- 議案第1号「令和6年度八郎潟町一般会計補正予算（第8号）」について

▶▶ 全員賛成可決

## 第2回臨時会

### 議会構成、各組合議員、監査委員など決定

- 令和7年2月25日第2回臨時会が開催され、正副議長の選出、各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会の構成、各組合議会議員の選出、監査委員選任の同意を行いました。

監査委員には、畠山一充氏が選任同意されました。

## 八郎潟町議会構成

議長 柳田裕平  
副議長 小柳 聡

議席	氏名
1番	加藤千代美
2番	京極幸村
3番	村井智
4番	小野千春
5番	伊藤章
6番	松田真寿美
7番	野原静雄
8番	小林響騎
9番	畠山一充
10番	小柳鉄秀
11番	小柳 聡
12番	柳田裕平

### 常任委員会

#### 総務産業常任委員会

委員長 京極幸村  
副委員長 小野千春  
委員 小野原静雄  
〃 村井智  
〃 小林響騎  
〃 柳田裕平

#### 教育民生常任委員会

委員長 伊藤章  
副委員長 松田真寿美  
委員 加藤千代美  
〃 畠山一充  
〃 小柳鉄秀  
〃 小柳 聡

#### 議会運営委員会

委員長 松田真寿美  
副委員長 小林響騎  
委員 伊藤章  
〃 村井智

#### 議会広報編集委員会（前期）

（令和7年2月23日～）

委員長 野原静雄  
副委員長 小柳鉄秀  
委員 伊藤章  
〃 松田真寿美  
〃 小野千春  
〃 柳田裕平

#### 議会広報編集委員会（後期）

（令和9年2月23日～）

委員 加藤千代美  
〃 畠山一充  
〃 村井智  
〃 京極幸村  
〃 小林響騎  
〃 小柳 聡

#### 議会選出監査委員

畠山一充

### 一部事務組合議員

#### 湖東地区行政一部事務組合

野原静雄  
松田真寿美  
小林響騎

#### 八郎湖周辺清掃事務組合

村井智  
小野千春

#### 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合

伊藤章  
小柳鉄秀  
京極幸村

# 3月定例会

3月定例会、3月10日から19日までの10日間にわたり開かれました。  
一般質問は6名、審議した議案は、補正予算関係7件、条例の改正14件、  
計画の変更1件、財産の無償貸付1件、当初予算関係6件です。

## 令和7年度一般会計当初予算は可決 32億9,344万円(対前年度比 2億1,586万1千円の増)

### 歳出予算の主なものは

○電子計算費（委託料・電算組合負担金等）	2億1,156万5千円（+94,802千円）
○湖東厚生病院運営費補助金	2,633万4千円（+8,673千円）
○ふるさと納税報償費	810万円（+3,600千円）
○総合計画等策定関係費（委員報酬、印刷製本、業務委託料等）	732万9千円（+7,329千円）
○振り仮名等の通知書作成業務委託料	251万4千円（+2,514千円）
○秋田県知事選挙費	197万6千円（▲227千円）
○衆議院議員通常選挙費	451万8千円（+4,518千円）
○地域福祉計画策定業務委託料	300万円（+3,000千円）
○自立支援給付費（障がい者）	1億9,000万1千円（+23,868千円）
○児童手当	6,093万円（+14,930千円）
○認定こども園バス運行費補助金	120万円（+1,200千円）
○認定こども園おおぞら園舎光熱水費補助金	200万円（+2,000千円）
○森林資源解析等業務委託料	886万6千円（+8,866千円）
○まちづくり活動センター管理運営委託料	1,107万3千円（▲1,377千円）
○Hachi LAB補助金	254万5千円（+2,545千円）
○一日市盆踊り補助金	474万7千円（▲1,498千円）
○田んぼアート事業費補助金	150万円（▲700千円）
○若者イベント実行委員会補助金	140万円（+100千円）
○おもしろ市場実行委員会補助金	95万円（+150千円）
○可搬式排水ポンプ購入（中型7台、小型4台他）	3,843万9千円（+38,439千円）
○社会資本整備総合交付金事業（町道除雪委託料）	3,119万4千円（+11,298千円）
○ふれあいロード橋点検委託料	1,471万8千円（+14,718千円）
○備品等廃棄処分業務委託料	682万9千円（+6,829千円）
○第2町民体育館電力引込工事	222万7千円（+2,227千円）

### 令和7年度特別会計等 議案可決

○令和7年度国民健康保険特別会計当初予算	6億8,895万6千円（前年度比13,626千円増）
○令和7年度後期高齢者医療特別会計当初予算	9,763万1千円（前年度比1,507千円増）
○令和7年度介護保険特別会計当初予算	9億8,021万2千円（前年度比10,675千円増）
○令和7年度水道事業会計当初予算	
（収益的收入）	1億3,992万円（前年度比4,073千円減）
（資本的收入）	3,816万4千円（前年度比7,036千円減）
○令和7年度公共下水道事業会計当初予算	
（収益的收入）	2億1,040万1千円（前年度比17,204千円減）
（資本的收入）	1億1,159万5千円（前年度比372千円減）

### 令和6年度補正予算等7議案可決

○一般会計補正予算	1億7,009万円追加
歳出予算の主なものは	
●積立金（総務管理費）	273,953千円
●秋田県町村電算システム共同事業組合負担金	▲21,445千円
●扶助費（医療給付費）	▲14,600千円
●社会資本整備総合交付金事業	▲12,013千円
○令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	3,509万4千円追加
○令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算	153万8千円減額
○令和6年度介護保険特別会計補正予算	
保険事業勘定	1,275万8千円追加
○令和6年度水道事業会計補正予算	
（収益的支出）	608万8千円減額
（資本的收入）	520万円減額
○令和6年度公共下水道事業会計補正予算	
（収益的收入）	765万7千円追加
（資本的收入）	44万7千円減額



**議案25号 反対討論****小林 響騎**

行政の特徴として前例を重視する傾向があります。そのことから、今回これらの土地を無償で貸付することで、前例を作ってしまう。行政は土地あるいは建物を無償で貸してくれるという前例ができてしまえば、別の事業者からお願いされた際、どう断るのでしょうか。現在、旧小学校の校舎使用の件で話し合いがされてるかと思いますが、無償で貸してくださいという話になりかねません。不利な前例を作らないでいただきたいと思います。以上のことより私は反対討論させて頂きました。議員の皆様。この議案についての自分の身の振り方。住民の皆様にとどのように説明するか。よくよくお考えの上、ご判断いただきますようよろしくお願い申し上げます。以上です。

**議案25号 反対討論****小野 千春**

町で検討している脱炭素事業を進めるうえで25号は先を見据え政策的に必要と同意し賛成でした。しかし3月18日の町の説明の中で脱炭素事業自体やらない事もあるとの答弁があり他課の事業充実（ふるさと納税充実の施策づくり、要保護・準要保護児童の教育機会、均等のための上乗せ費用等）にあてられる可能性もあるゆえ今年このタイミングで無償化する事を再検討いただきたく反対討論いたしました。

**議案25号 反対討論****村井 智**

目的については賛同する。しかし町条例（財産の交換・無償貸付等に関する条例）は国・県を貸付対象と想定された条文であり、今回の解釈には無理がある。よってルールを規定した上で実行するべきである。今後同様の事案が惹起した場合を考慮すべきだ。

**議案26号 反対討論****小林 響騎**

26号に賛成するということは、はちらほの予算にも賛成するということです。その点みなさまよろしいでしょうか。いったい町民のみなさまにどのように説明するのでしょうか。全く反対というわけではなくもう一度考え直しましょう。1,100万円をかけるのは本当に適正でしょうか。他にやりようがあるはずです。みなさんで方策を探りませんか。役場側も立場上引くに引けない状況です。私たち議員がかええないといけないのです。議員になった初心を思い出してください。よろしく申し上げます。

**議案25号 反対討論****加藤千代美**

議案第25号、財産の無償貸付について反対討論を行います。

今、無償貸付しようとする宅地（土地）は1937～1940年に構築された八郎潟カントリーのことであると思うが（構築された年については農協職員の記憶によるものである）この施設は農家の米の収集、集荷の業務を主体として設立されたものと理解している。その上で、農家の米の供出に大いに貢献している施設でもある。また、粃を粃摺る際に出る粃殻は農地を肥大化していく上でとても重要な役割を果たし、農地の転用するとても大きな役割をなし、農家にとって非常にありがたい施設として今日まで貢献している事実がある。この施設を構築するにあたっては、当時のことはよく理解できないが、行政と農協が十分に話し合いを行い農協が借り受ける際に借地金を払ってまで構築されたのは、相方にメリットがあったと思う。現に、今でもなんの支障もなく運営されている施設を無償で貸付することについては理解できないので反対いたします。むしろ、ウクライナの戦争によって、麦、大豆等が不足する現状で国、県が押し進める施設設備の充実を図る資金を補助し、麦、大豆の収集、出荷を図ることが肝要かと思うと同時に、町の産業振興に大きな影響を及ぼすものと考え反対の討論と致します。

**議案26号 反対討論****京極 幸村**

一般会計予算については反対の立場から討論いたします。まず初めに当初予算が否定となった場合でも必ずしも全ての事業が停止するわけではありません。予算においては、まちづくり活動センターの管理委託運営費について見直す時期に入っています。委託料の積算についても、町民の血税を投入していることを考えればより詰めるべきです。一般会計予算について反対いたしますので、ご同意賜りますようお願いいたします。

**議案26号 賛成討論****畠山 一充**

一般会計予算総額（案）32億9,344万円であります。これをストップすることは、行政サービス事業及び職員の生活に支障をきたし、町民生活にも混乱を招くこととなります。予算特別委員会では、各委員から課題、要望、意見について発言し、議論されたと思います。担当課でも重く受け止め、行政運営を進めるものと確信しております。私の賛成討論です。

**■議長交際費の支出状況（1月～3月）**

◎議長が交際費に要した経費の概要をお知らせします。

分 類	件数	金額（円）	内 訳
その他	3	11,213	湖東3町商工会賀詞交歓会・スポーツ協会表彰式・婦人会総会
計	3	11,213	



## ◆ 質問者

### 村井 智 議員（一括質問一括答弁）

- 1、町内排水が農業施設による町長の所見
- 2、農業者数と平均年齢、今後の農業政策について
- 3、企業誘致の状況と方向性について

### 野原 静雄 議員（一問一答）

- 1、喫緊の課題について
- 2、課題の解消について

### 伊藤 章 議員（一問一答）

- 1、令和7年度の「町民主役」のまちづくりについて
- 2、災害に関する避難情報の共有化及び一時避難場所の環境調査について
- 3、買物弱者や移動困難者の把握について

### 松田真寿美 議員（一括質問一括答弁）

- 1、高齢者の集いの場について
- 2、健康を維持するための食生活について

### 小柳 鉄秀 議員（一括質問一括答弁）

- 1、「あいさつ運動の小さな一歩から」人口減少対策を

### 小柳 聡 議員（一問一答）

- 1、物価高騰対策について
- 2、LINEアプリの運用状況は

#### 一般質問とは

一括質問一括答弁方式の場合、質疑は特別な場合を除き3回を超えることができない。一問一答方式の場合はこの規定は適用しない。

また、延会、中止、又は休憩のため発言が中断したときは、会議の再開により前の発言を続けることができる。



## 一般質問

## 八郎潟町の地理的構造と農業について

村井 智  
議員

**問** 八郎潟町には馬場目川に注ぐ河川はない。概ね、雨水の排水は国道7号線から東は戸村土地改良区の排水路により三種川（東部承水路）に注ぐ。7号線から西は八郎潟土地改良区の排水路により同土地改良区が委託管理する排水ポンプで同じく三種川に排水する。我が町の農業は町の必要不可欠の役割も担っていることを強調し、共通認識としたい。

**町長** 本町の重要インフラである排水路は概ね上

記の通りであり、上記を鑑み八郎潟土地改良区には三個所の排水機場に係る経費の一部を町単独や国事業を活用した助成を行っている。今後も必要な協力をしていきたいと思っている。

**問** 両土地改良区の構成員である農家は高齢化と後継者不在故、ほんの数年後には大きな変換点を迎えることが容易に想定出来る。前述の通り町の排水は両土地改良区に管理運営がなされており、農業の衰退は町の構造に直結する問題となる。隣の大潟村でも毎年離農者が発生しており、耕作放棄地こそは発生していないが問題が持ち上がっている。苗の生育団地の価格高騰である。売買価格の実勢は一反歩あたり500万円以上だそうだが、従来農法では営農面積の増加は育苗地の拡大が必然であるためである。そこで解決策としてJA大潟村組合長みずから取り

## 農業者の現状と今後について

組んでいるのが「乾田直播き栽培農業」である。これは象潟町あたりでは以前から行われておりノウハウも蓄積され収量も在来農法にひけを取らないレベルだそうだが、何より春作業の軽減効果は大変大きい。しかしこの農法に必要な収穫後秋の代掻きは大潟村では象潟町と違い用水の確保を雨水に頼っているためこのままでは普及が困難であろう。実は当町は用水確保について、現状での対応はかなりの面積で可能性がある。今のうちから取り組んでみてはどうか。

**町長** 本町における自営農業者の総数は242人、平均年齢は68・2歳。認定農業者数は88人、平均年齢は67歳となっている。全国的に農業者の高齢化は課題となっており、本町においても喫緊の課題となっている。町では間もなく10年後を見据えた地域計画がスタートし、将来の農地計画に地域全体で継続的に協議を重ねていき目標地図の作成に取り組んでいるところだ。

## 企業誘致の現状について

また脱炭素化の事業により冬場の農業に向けても取り組んでいきたい。

**問** 当町周辺域でも従業員確保が困難だ、との悲鳴に近い声が上がっております。能代市に誘致した中国製材（株）が未だに従業員の充足に至っていないことを考慮するに、企業の誘致はよほど考えて行わなければと憂慮している。そこで、企業の卵を誘致することを提案する。合わせて町内の課題解決を図る目的である。一例を述べる。高齢化や諸問題により交通弱者の問題が深刻化している。交通弱者は買い物弱者であり通院弱者でもあり町民の生活に直結している。先日国際教養大学の学生さんが大変興味深いビジネスを提案している。キヤンパスまでの送り迎えをビジネスにする、ということがある。このエッセンスを本町に適用した事業を、本町のふるさと納税を活用し起業しても

らう、との提案である。交通弱者問題は都市圏を除く日本全国の問題であり取り組んでいる研究者も多くいる。また、事業である故一定期間の内に成り立たなければ退場してもらふことはもちろんである。企業にとってはここで成功すれば全国に打っていける。町は一定の株式を所有した上でスタートアップ時の苦しい時期を地域協力隊で支援するなり、確実な収益となる通学を担ってもらふなどのインセンティブを提供する。結果町民生活が向上すれば目的を達成することが出来る。これは一例である。

**町長** 本町単独での誘致は非常に困難で通勤圏内の誘致に周辺市町村と一緒に取り組んでいるところだ。課題解決の案については今後勉強していきたいと考えている。



## 一般質問

## 課題解決のためのマンパワーと財源を生み出すために（要点抜粋）

野原 静雄  
議員

**問** 人口減少と高齢化による弊害はたくさんあるが、その中から喫緊の課題について、共有化したい。高齢化の問題は、当事者の命に係わる問題。2021年の高齢者世帯調査では221世帯の訪問調査で約90世帯が支援を必要としている。農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加も大きな問題。この2件について町長のお考えは？

**町長** 高齢者が安心して生活するためには、安心感、日常的な家事、交通手段、友人・知人との交流サービスが必要。これについて、関係団体などと協力し、日常生活ニーズ、高齢者実態調査、アンケート調査を参考に高齢者の支援ニーズを把握して新たな生活支援サービスを整備する。

農業の後継者不足では、当町の自営農業従事者の

平均年齢は、令和2年の調査では68・2歳。農業従事者は減少。高齢化と担い手不足の問題は益々深刻化する。この問題は、雑草や病害虫の発生、ごみの不法投棄などの発生等町全体の課題。農業法人化への取り組みはとても重要。農業法人は、経営面積の拡大や集約化、農産物の生産、加工、流通、その他農業機械の導入、施設の整備等、法人のみならず担い手農家を支えるため、国や県の補助金等を活用し、農業機械や設備にかかる支援を更に進めていく。

## 課題の解消について

**問** 課題解消のためには、実施する前提となる「人」と「財源」の確保が必要。マンパワーの確保について、八郎潟町の「極めて高い町民の連帯感」の地域文化を活かして「互助」の体制を強化して地域課題を解決していく。特に、高齢者や弱者の福祉につなげる事が重要と考える。そのため

に、町内会や、各まちづくり団体、外郭団体などを物心両面で支援、強化し、地域づくりを更に磨き、参加する町民を増やし、町を活気づかせ、結果として「互助」の体制を作るべきと考える。

財源を産み出すということについては、国・県の支援事業を積極的に活用する。

内閣府の「小さな拠点」施策は、郊外集落に買い物場を作り、生活の不便を解消し、地域コミュニティの場を提供する。郊外集落の所得を向上させる。中心市街地と郊外集落に交通アクセスを整備する。また、買い物支援、声掛け・見回りなどが提案されている。必須条件は、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する地域運営組織を作ることだが、八郎潟にはその原型となる組織がある。今後、議会、行政がこうした団体を活用して共に汗を流して前に進めたい。

次に、町外へ委託している業務を町内で対応すること。ふるさと納税返

礼品の事務業務を町で行なうことにより、町民の知恵、能力を活かした返礼品の種類と寄付金額の増加、関係する町民の所得が向上すると考える。

**町長** 人の確保についてですが、当町の地域コミュニティの利点を生かし、今後、引き続きその中心的役割を担う町内会をはじめ、各種住民団体の活性化支援を図り、町民自らの手でまちづくりを推進する町民主役のまちづくりを目指していく。

国・県の支援事業については、町政を有利に運営できるよう、これまで以上に、国や県の補助金等を積極的に活用し、財源の確保を図っていく。

次に、町外に委託している事業の町内回帰は町が町外に委託している業務は、専門的な技術や効率化を目的とした業務で、対象となる事業者がない業務については町外に委託している。ふるさと納税の関連業務は多岐にわたり、年

間1500件に上る寄付金の迅速な対応が必要となることから、町内の事業者では難しいものと思う。

**問** 小さな拠点という考えについて、町長のご認識は？

**町長** 当町は人とかかわりは既にできている。そういった中で、買い物支援や交通弱者への対応はこれから突き詰めていく必要がある。

（高齢者対策は）十分だとは思っていないのでブラッシュアップしていく必要があるとは思っており、小さな拠点づくりの施策で活用できるものがあれば考えていく。





## 一般質問

## 令和7年度の「町民主役」のまちづくりについて



章 伊藤  
議員

**問** 少子高齢化、核家族化や人口減少などが進む中、町民の生活課題や価値観が多様化し、地域住民同士の交流機会の減少、連帯感の希薄化もみられます。しかし、行政は町民個々の要望（ニーズ）に応じた公共サービスが求められますが、行政がそれを実現するための財源、職員などの資源については、限界があると思います。そこで、本町は「第6次八郎潟町総合計画」（後期基本計画）を策定しておりますが、その中の1「基本方針」に「地域コミュニティの中心的存在である各町内会などの活性化を図るとともに、町民、企業などと連携協働し、町民自らの手でまちづくりを推進する「町民主役」のまちづくりを目指す」とあるが、令和7年度の施策はどのように計画されていますか。

**町長** これまでの活性化支援の取り組みとし、町内会では、町内会連絡事務協力金助成、地域活性化助成会、地域除排雪助成金等、一般コミュニティ助成があります。また、20を超える各種団体が運営するイベントや盆踊り、スポーツや文化芸能などの活動に対して、年間1,300円程度の助成を行っており、令和7年度も継続して支援することとします。また、地元企業との連携協働については、令和7年度においては脱炭素事業に着手し旧小学校を活用した新事業による地域産業の活性化を推進していく予定です。

### 災害に関する避難情報の共有化及び一時的避難場所の環境調査について

**問** 令和5年7月14日からの記録的大雨による馬場目川の洪水や土砂災害に関する災害避難指示が、翌日15日に発令され、対象地区の町民292人が「指定緊急避難場所」等へ不安を抱えたまま避難されたと思います。そこで、1点目は高齢者、障害のある方、移動困難者及び災害時要援護者に対し、町内会、消防団、民生児童委員及び地域福祉協力員等が対応しておりますが、災害時の避難者情報は、地域で共有化されているのか。また、その仕組みはあるのか。2点目は、水害発生時期は暑い季節のため、避難施設に冷房設備がない環境の中で、精神的不安を抱きながら避難した町民も見受けられました。「指定緊急避難場所」の施設の環境調査等を実施しておりますか。

**町長** 町では平成21年度に策定した「八郎潟町災害時要援護者避難支援計画」に基づき、災害時に安否確認や避難支援といった地域の支援を必要とする方々（災害時要援護者）が事前に町に登録をして、その情報を町内会長、民生児童委員、町社会福祉協議会、五城目警察、湖東地区消防署に提供し、「八郎潟町災害時要援護者登録制度」を実地しております。現在の登録状況は災害時要援護者が34名、災害時要援護者支援者が72名となっております。また、町の「指定緊急避難場所」の状況については、緊急的に避難する場所として14ヶ所、施設として36施設となっております。施設の環境状況については、冷房設備が整っている施設（一部冷房設備あるものも含め）は27施設、冷房設備がない施設は9施設であります。また、防災センターの2階トイレが和式になっており、避難した高齢者から大変不便だったとのこと、令和7年度当初予算に洋式工事費を計上しております。

### 買物弱者や移動困難者の把握について

**問** スーパーの閉店や商店街の衰退など、流通機能や交通網の弱体化が原因で、高齢者等を中心に、食料品の購入や通院に、不便や苦勞を感じている買物弱者や移動困難者がいます。現段階での対象者を把握していますか。

**町長** 買物弱者や移動困難者の実態調査は行っておりませんが、民生児童委員の方々が、年1回「高齢者実態調査」を実施しております。この調査は65歳以上の方を対象に、担当区域毎に個別訪問して、高齢者の基礎情報（居住実態や世帯・身体・食生活状況）を令和5年10月1日現在、2,352名から回答を得ております。食事項目の集計を取ってみますと、「困っていない人」が87.2%、「食料品の買い物に困っている」が1.1%、「調理に困っている」が0.3%、「買い物、調理の両方に困っている」が1.2%、「未回答」が10.2%という結果になっております。この結果だけを見ますと9割弱の方が食事に困っていないと読み取れますが、その背景には福祉・民間配食サービスなどが要因と考えています。また、移動困難者に対しては、外出支援サービスとしてタクシー利用券交付事業と介護タクシー利用料補助事業を実施しています。

## 一般質問

## 高齢者の集いの場について

松田真寿美  
議員

**問** コロナ禍前は高齢者向けの介護予防教室等は送迎があることで、気軽に参加し楽しまれていました。送迎をしなくなった理由とシルバー人材に依頼とかタクシー会社との連携などの方法はないものか。また、現在行われている介護予防教室等の事業は継続するのか新たな事業の予定はあるのか。

**町長** 老人憩いの家は安らぎと憩いの場として、また火曜日・木曜日には心身の健康の増進を目的にお風呂を利用してきます。来年度は夜叉袋地区の住民を対象に「弁天荘」で「かだつこサロン」を開催する予定です。

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を行うために高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施を行うものです。

介護予防教室は、フレイルを予防し健康で生き生きと生活できるように7教室を開催しています。令和2年度までは、町社会福祉協議会に委託し送迎も行っていたが、コロナ禍の影響や委託先の担当職員の移動等の理由もあり、令和3年度から委託を取りやめています。今後、介護予防教室に参加する方で送迎を希望する方には、町職員が送迎を行いますので外部団体や企業に依頼する予定はありません。令和7年度は運動能力の低下予防のほかにも食事のアドバイスを行い、日常生活の質を高めるケアを含めた介護予防教室を実施したいと思案しているところです。

**問** 老人憩いの家のカーテンや畳等だいが傷んでおります。折を見てご対応を願うところです。

**健康福祉課長** 「弁天荘」「寿山荘」などの修繕等確認しながら今後予算化したいとおもっています。

次期福祉計画に向けて、令和7年度の施策を期待します。

## 健康を維持するための食生活について

**問** 高齢者の方々から生鮮食品に困っているとの話をききます。4月中旬に「まちづくり活動センター」で「つくし苑」さんが「どんぶりころころ」の名称で、弁当や惣菜や野菜等の販売を始めるとのこと、町当局としてのかかわり方をお聞かせください。まちづくり活動センターの立地場所的に、面潟地区の特に移動手段が無い高齢者の方はどうなるのでしょうか。

「はちらぼ」の時も配達や車で送迎がありました。が、実際に利用した人はどれくらいいたのか。利用した方の反響はどうだったか。全町民の要望に応えるような事業であってほしいと思います。

**町長** 南秋福祉会の事業なので直接的に町が関与することはありません。協力依頼があった場合、PRなどできる範囲で協力する考えです。「はちらぼハウス」が経営して

いた当時の配達は令和3年度3,128件・4年度2,963件・5年度1,978件、送迎は令和3年度73人・4年度70人・5年度48人となっています。利用者からは「買い物ができないため助かっている」「配達していただき感謝している」「会合の場所への配達はありがたい」などの声があったと伺っています。

「どんぶりころころ」の今後の動向を見守りながら、随時発信したいと思います。





## 一般質問

## 「あいさつ運動の小さな一歩から」人口減少対策を

小柳 鉄秀  
議員

**問** 八郎潟町の人口は1965年（昭和40年）国勢調査の8,379人をピークに、2025年（令和7年）2月1日現在では5,161人までに減少している。この数字から見ても、町の命である人口減少対策が急務と考える。あいさつ運動を行うことで家庭、学校、地域など人と人、社会全体のつながりや信頼関係を深めるとともに、助け合いの心を育てることができると思う。このあいさつ運動で犯罪のない安心して暮らせる・子育てができる環境を生みだし八郎潟町に住んでよかった、住んでみたいと考えるような気持ちになるかもしれない。少子高齢化や人口減少、伝統文化の継承など様々な地域課題を克服するためには、実践できるあいさつ運動で町の良さをアピールす

ることこそが最も重要と考える。あいさつ運動を推進していく目的とその効果として、1つは、人と人とのつながり。気持ちの良い元気なあいさつを交わす環境をつくることで、人と人とのつながりを深め、住みよいまちづくりにつながる。また、豊かな人間関係と思いやりのある心を醸成し、自分の住むまちに対する深い愛情をはぐくむことができる。2つ目は、防犯・防災の強み。人と人とのつながりを深められ、子どもたちの登下校時や生活の安全を守る効果が期待できる。また、災害時の連携・協力体制の向上にも貢献できる。3つ目は、おもてなしの心。5月5日の願人踊、8月の一日市盆踊りや田んぼアートには約7万人が訪れると報告があったように毎年、多くの方が来訪される。おもてなしを行うことで八郎潟町のイメージアップが期待できる。八郎潟町が生まれ変われる材料の一つかもしれない。県内外から素晴らしいまち「住みたいまち」

ランキング上位に入れるようなまちづくりを町全体で考えてみてはどうか町と教育委員会の考えをお聞かせください。

**町長** 自治体がいさつ運動を効果的に励行するには中々ハードルが高いと思う。住民への意識啓発を促すための広報活動、スローガンの設定などが考えられるが、あまり効果がないと思う。ただ、学校を通して、児童・生徒がいさつ運動を励行することで、地域住民にも自然に波及していくのではないかと。

**教育長** 例えば、八郎潟小学校では、昔からいろいろな形であいさつ運動に取り組んでおり、現在は児童会の自主的活動として、朝、学校の玄関前で登校してくる児童生徒に元気に挨拶をする活動を関係機関との連携により定期的に行っている。しかし、こうした取り組みに効果があるとは、一概に言えない。あいさつは形式だけのものではなく、お互いに心が通うやり取りになることが大切。あいさつをきっかけとし

て、相手とのつながりをもつ活動を進めていくとよいのではないかと。そのため、中・長期的視野に立って、多くの人の協力を得ながら学校や地域、任意団体等による地道な草の根的な運動を根気よく続けていくことが大切であると思う。

**再質問** 町では、令和7年度に第7次八郎潟町総合計画を策定するにあたって、これまで以上に知恵を出し合い、素晴らしいまちづくりのための事業の展開をお願いする。「小さなあいさつ運動」をすることからはじめないと、この町はよくならないと思う。人と人との繋がりが大事であるので「社会教育は人づくり」の観点から社会教育でやっていたいただきたい。スローガンについては募集するか、教育課で考えるかはお任せする。町全体で

できるものを作りあげていただきたい。教育課でできないか。

**教育長** 学校教育ではこの後も、あいさつを重点として啓発を進めていく。それに並行して、社会教育の方でも足並みをそろえて進めていければ効果があると思う。スローガンについては、庁舎内でも検討して実施するか否かを考えていきたい。



## 一般質問

## 物価高騰対策は

小柳 聡  
議員

**問** これらの施策で物価高騰に対しどの程度の効果を見込むのか、期待するの何う

**町長** 住民税非課税世帯一世帯あたり3万円を給付し、住民税非課税世帯のうち18歳以下の児童がいる子育て世帯に対して子供一人あたり2万円を加算給付しております。また灯油価格の高騰を受け特に家庭への影響が大

きい住民税非課税世帯に対して秋田県と協調し灯油購入費を助成し、低所得者の生活持続の一助になっていると考える。

**町長** 住民税均等割りのみ課税世帯に対する支援は今年度の物価高騰支援給付金において一世帯あたり10万円を、またその内18歳以下の児童がいる場合は該当児童一人あたり5万円を支給しています。ただしひとり親世帯に対する支援はこれまで支給した実績はありません。低所得世帯を下支えるため、あくまでも所

得に応じた給付対象が根底にあるからだと考えます。地方創生臨時交付金については交付対象額を上回る事業費は町単独事業費を充てて実施しており、その中でも地域商品券事業においては物価高騰の影響を受けている住民や事業者の支援、地域経済の活性化を目的として所得制限を設けずに全町民を対象にこれまで8回に渡って実施しており、この事業の町単独費の持ち出しは約4,900万円、総事業費の13%以上に上っております。

**米価の著しい値上げや生鮮食品も高騰の一途を辿り、小麦粉も価格が上がりパンや麺類も値上げしている。また牛乳(200ml)だけでもこの5年間で10円以上の値上げになっている。昨年からの一年間で生鮮食品の消費者物価指数は20%以上も上昇しており、再度目を向けなければいけないのが給食費です。必要なのは食材や調理法の工夫では限界がある。**

**問** 給食単価を適正に引き上げるべきではないか

**教育長** 学校給食も物価高騰の煽りを受けて経営困難な状況が続いています。令和5年度令和6年度と連続して給食費の引き上げを行いました。しかし近頃の米、野菜、加工食品、調味料等の価格高騰により現行価格でも予定通りの献立では赤字になることが判明したため、献立の変更を余儀なくされるなど学校も対応に大変苦慮しております。令和7年度には物価の高止まりを視野に入れ余裕を見た値上げ幅を設定し小学校330円・中学校400円として当初予算に計上しています。これは周辺市町村より高い設定となり、これにより栄養価の基準を満たした学校給食が可能になると共に担当者の創意工夫や児童生徒の希望等も多少は取り入れられると考えています。

**問** 令和6年度後半は予算額に

対してどのような苦労があったのか

**教育長** 野菜の高騰に対応するため生野菜を使用せず冷凍野菜を使用する日を多くした、副菜を果物に変更する等して安く済む献立にした、大量に油を使うので揚げ物の回数を減らし、それに関連し子どもたちのリクエスト給食を残念ながら実施出来なかった、米を節約するために児童生徒が複数の欠席した場合は炊飯量の調節を行った、また牛乳よりも価格の安い別の乳製品を出す日を増やすなど、様々な工夫でどうにか乗り越えてきたと伺っています。



ある日の小学校給食例



## 令和7年 八郎潟町議会3月定例会 提出議案結果報告

議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第3号	令和6年度八郎潟町一般会計補正予算（第9号）について	賛成多数可決 反対：加藤千代美
議案第4号	令和6年度八郎潟町一般会計補正予算（第10号）について	全員賛成可決
議案第5号	令和6年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第6号	令和6年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	全員賛成可決
議案第7号	令和6年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	全員賛成可決
議案第8号	令和6年度八郎潟町水道事業会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第9号	令和6年度八郎潟町公共下水道事業会計補正予算（第3号）について	全員賛成可決
議案第10号	八郎潟町表彰条例の全部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第11号	八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第12号	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第13号	八郎潟町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第14号	八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第15号	八郎潟町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第16号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第17号	八郎潟町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第18号	文化財審議委員会設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第19号	八郎潟町文化財保護条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第20号	八郎潟町オリンピック記念会館町民健康トレーニングセンター条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第21号	八郎潟町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第22号	八郎潟町下水道条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第23号	八郎潟町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第24号	八郎潟町過疎地域持続的発展計画の変更について	全員賛成可決
議案第25号	財産の無償貸付について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、 京極幸村、村井智、 小野千春、小林響騎)
議案第26号	令和7年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対：加藤千代美、 京極幸村、村井智、 小林響騎)
議案第27号	令和7年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第28号	令和7年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
議案第29号	令和7年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第30号	令和7年度八郎潟町水道事業会計予算について	全員賛成可決
議案第31号	令和7年度八郎潟町公共下水道事業会計予算について	全員賛成可決

# 各常任委員会の報告

## 総務産業 常任委員会

### ◆一般会計補正予算 (第10号)

**問** 森林経営管理計画現況調査委託料の減額理由は何か。

**答** 令和6年度に県で実施した航空レーザー測量のデータを活用することで、現地確認が不要になる等、事務の省力化が図られることから減額したものである。

### ◆財産の無償貸付

(貸付をする財産は、あきた湖東農業協同組合代表理事組合に対して面積6,154㎡。八郎潟町大豆刈取集団に対して面積238㎡。令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間。)

**問** これまでの貸付金額は幾らであったか。

**答** 農協部分については年間177万円弱、大豆刈り取り部分については年間1万8千円ほどである。

**問** 無償にするには理由があるのか。

**答** 財産の交換・譲与・無償貸付等に関する条例では、公共団体は公益事業の用に供するときは、議会の議決を得ずに無償で貸し付けることができるとされています。農協は、公共的な活動を営む産業経済の公共団体であります。また、カントリーエレベーターは公益事業にあたります。ただし、これらのことについては、個々によつては解釈が異なる懸念があったことや有償から無償への転換となることから、議会へ説明したうえで、進めていきたいことから議案を提出したものです。

**問** 町の条例は、そもそもどのようなものを想定

して制定されたのか。

**答** これまで無償貸付できる団体は、公共的団体についての説明してきましたが、条文には、地方公共団体、その他の公共団体も入っており、主に国や県が事業を実施するうえで町の普通財産を活用することなどを想定しております。

### ◆陳情 最低賃金の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

・最低賃金を大幅に引き上げるといことは、賃金に見合わない労働者は切り捨てられることに繋がるので危ないと思う。

・毎年陳情されるが、中小企業経営者にとつては厳しいと思われる。



## 教育民生 常任委員会

- 補正予算議案 4件
- 条例改正議案 6件
- 陳情 2件

### ◆一般会計補正予算

**問** 老人福祉センター管理運営委託料にスチームコンベクションの購入費を、町から半額負担する

とあるが、町が半額負担する取り決めなどはあるのか。

**答** 老人福祉センターは、町の所有物であり、社会福祉協議会から運営管理をしていただいております。また、介護事業所として運用もしておりますので、協議の結果、半額は社会福祉協議会で負担いただくことになりました。

**問** 空き家等解体費補助金を減額補正しているが、多くの空き家があると思うが、実態調査は実施しているのか。

**答** 令和6年度は申請の申し込みがないので減額

補正しました。また、この補助金の対象になる危険空き家の実態調査は実施しておりません。近隣の住民から連絡を受け、所有者へ対処していただくよう通知等しています。

**問** 消防団員報酬が、全般的に減額補正になっていますが、減少している消防団員数への対策はあるのか。

**答** 条例定数75人に対し、現在58人となっています。広報等で募集はしていますが、入団希望者がありません。今後は、町消防団としても、分団再編に向けて町と協議が必要と考えています。

**問** 町民第2体育館の照明の調査に伴い、照明増設する考えはないのか。

**答** 将来的にはLED化する必要があるが、調査結果を踏まえて検討する。

### ◆条例関係議案

**問** 国の法律の規定に基づき、八郎潟町災害弔慰金等支給審査委員会を設置することになるが、災害が発生しなければ招集

しないのか。

**答** 災害関連死に該当するかの審査する委員会なので、災害後に招集する。

**問** 「八郎潟町オリンピック記念会館町民健康トレーニングセンター」の名称は変更しなければならないのか。

**答** オリンピックに関する名称は国際オリンピック委員会(IOC)が保有する知的財産のため、令和7年4月1日から施設名を「八郎潟町アスリートメモリアルセンター」に変更する。





# 予算特別委員会審議

## 健康福祉課関係

**問** 地域福祉計画策定業務委託料300万円について、計画策定にあたり、基礎資料は役場職員が作るのか、委託会社が作るのか。

**答** 町民にアンケートを行い、業者の手助けも受けるながら健康福祉課職員全員が担当し、収集・分析して参ります。

**問** ファミリー・サポート・センター事業について、現在どのような状況になっているのか。

**答** 子ども・子育て支援事業計画策定の中でアンケート等をした結果、親の急な用事で子どもを預ける場所がないため、この事業を整備してほしいという意見が4割程ありました。ニーズがあると判断しております。預けたい人はおりますが、受け手の人材整備をしてから実施したいと考えております。

**問** 受け手となるサポート会員は誰が担うのか。

**答** サポート会員は一般町民と、にゃんばち子育てらんどにいる職員を想定しています。

定しています。

## 建設水道課関係

**問** 除雪体制について、高齢化、人口減少の中で、厳しい状態だと思いが、現状について教えてほしい。

**答** 昔からオペレーターが確保が難しい状況であったが、近年、ベテランの引退、若手オペレーターの減少等もあり、より厳しくなっております。異業種からの人材確保の手段として免許取得にかかる費用を負担する助成事業も行っております。令和7年度につきましては、辛うじて人材の確保は行っている現状であります。

**問** 今後人材の確保が厳しくなっていく中で、除雪体制の中長期的な育成計画を行う予定はあるか。

**答** 人材確保は厳しい現状でございます。除雪は経験を経ないと上達が難しいため、普段からそういった業務に関係する人となると人材の確保が限られてきます。そのため、農家からの確保、育

成が必要であると考えます。過去助成事業で5人免許を取得しましたが、本人の都合により辞めた方もいらっしゃると思います。途中で都度実地研修を行い育成を図っております。免許を取得した人は継続して携わってほしいという思いはございますが、本人の都合もございいますので、確保が難しい現状です。

## 総務課関係

**問** せせらぎ公園橋等解体工事が予算計上されています。今後のせせらぎ公園はどうなるのか。

**答** 小川は漏水しているため、復活させるという事は考えていません。芝生化する案や一体的に広場にする等の案を、行政事務改善委員会で検討しております。

**問** 結婚新生活支援事業補助金について、実績がなかった理由は世帯所得が500万未満という条件のためか。

**答** そもそも申込みがなかったため、実績0件となりました。

## 住民生活課関係

**問** 旧小学校遊具撤去について、どの程度撤去するのか。まだ使用されている遊具なのですが、今後の旧校舎利活用の関係もあつての撤去か。

**答** 利活用のこともありますが、管理していかない状態ですので危険性を考慮して全て撤去するものです。

**問** クリーンセンターの管理人について、3月広報で管理人の募集をしていた。募集に対して、現在申し込みはあるのか。

**答** 現在はありません。

## 教育課関係

**問** 部活動地域移行検討委員会について。教員目標の負担軽減といった改革は進んでいる。この検討委員会では教員の働き方改革と部活動環境のどちらの方向で議論するのか。

**答** 完全移行については、今まで同様に進めていきたいと考えております。環境整備につきましては、今のところはつきりとしたことが決まっていないうのが現状です。各部活動でも受け入れる体制

が整えられれば、より良いスポーツ環境の整備へ近づくのではないのかという感じがします。令和7年度は、そういうことも含めながら進めていかなければならないと思います。

**問** 部活動指導謝礼について、競技特性によっては、指導者が複数必要競技もあると思う。競技によって枠を増やしても良いのではないか。

**答** 検討します。

## 産業課関係

**問** はちらぼ補助金の2,545千円の補助金の内訳は。

**答** 野菜の納品、弁当の配達、効果促進事業、事務局長の人件費、車の維持管理費となります。

**問** 指定管理の目的は住民サービスの向上と経費削減である。まちづくり活動センターに指定管理者制度を導入することによって、コストメリットはあつたか。(指定管理費約1,100万円)

**答** コスト減にはなっておりません。コスト削減については考えておりますので、様々な方法で検討していきたい。

**問** 全体的な管理にそれほどかかるのか。

**答** 人件費で土日祝含めて8時から19時まで開館しておりますので結構な金額がかかります。その他、大きい予算は光熱水費になります。

**問** 指定期間内に結果が出なければいけないという認識を持ってほしい。また、直営の話もあつたが、町でも考えてほしい。

**答** 直営にするなら改善センターの様に、会計任用職員を雇った形の形態が良いと思っております。

**問** 管理委託費として、町はいつまで補助をするのか。

**答** はちらぼが存続する限りは、管理委託を行いたいと考えております。

**問** 脱炭素事業についての内容はこれから決定するとあるが、実際はどの位進んでいるのか。

**答** 事業者から提案の一つにバイオマスをやりたい提案はあつた。しかしその他の提案含め具体的な事業についてはまだ決定していない。



# 陳 情

受理 番号	受 理 年月日	件名	住 所	氏 名	件 名	本会議 結 果	付 託 委員会
1	令和7年 1月14日	陳情	東京都 八王子市	伊藤 豪	議会の審議においてどの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかがわかるような図を作り、自治体ホームページで公開することに関する陳情	採択	総務 産業
2	令和7年 1月14日	陳情	東京都 八王子市	伊藤 豪	市民とともに「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	不採択	教育 民生
3	令和7年 1月14日	陳情	秋田市	秋田市弁護士会 会長 石田 英憲	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書採択に関する陳情」	賛成多数 反対： 村井 智 野原静雄 小林響騎	教育 民生
4	令和7年 1月20日	陳情	秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 高野 智子 秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 奥井 明子	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	反対多数 賛成： 野原静雄 小柳 聡	総務 産業
5	令和7年 2月3日	陳情	大館市	渡部 道正	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出に関する意見書	反対多数 賛成： 小野千春 小林響騎	総務 産業



## 議 会 の う ご き

### 1月

- 4日 消防出初式 (議長)  
10日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会並びに  
永年勤続優良従業員表彰式  
20日 例月出納検査 (監査委員)

### 2月

- 4日 合同厄祓い・還暦祝 (議長)  
17日 第1回臨時会  
議会全員協議会  
11日 スポーツ賞授与式・スポーツ講演会  
12日 秋田県町村電算システム共同事業組合議会定例会 (議長)  
秋田県町村議会議長会理事会 (議長)

- 18日 例月出納検査 (監査委員)  
19日 南秋田郡議長会連絡協議会

### 3月

- 4日 議会運営委員会、議会広報編集委員会  
5日 議会全員協議会  
6日 八郎潟町婦人会総会 (議長)  
10日 議会定例会 (19日まで)  
21日 八郎湖周辺清掃事務組合議会  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会  
例月出納検査 (監査委員)  
24日 議会広報編集委員会  
26日 湖東地区行政一部事務組合議会  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会例月監査

### ◆議会広報編集委員会

委員長 野原 静雄  
副委員長 小柳 鉄秀

伊藤 章  
松田 真寿美  
小野 千春  
柳田 裕平

今期の町議選が終わり、7人の新人議員にとっては、あわただしく過ぎた1か月半余り、再選議員にとっても不慣れな多くの新人議員の指導で、ご苦労があったかと思いますが、無事に「3月定例会」が終了しました。「議会広報編集委員会」も6名中5人が新人議員ということで、新しい目線で「議会だより」を考えようということを決めましたが、3月定例会の閉会から原稿締め切りまでタイトなスケジュールの中で「議会だより」の見直しは今後、検討を重ねながら、6月定例会のご報告(第164号)からということになりました。3月は、卒業式のシーズンということで、私も30年ぶりに卒業式に参列させていただきましたが、感動で胸がいっぱいになりました。同時にこの子供たちのためにもしつかり仕事をしなければ…という決意を新たにさせられました。今後のご指導と御鞭撻をよろしく願っています。(野原静雄)

### 編集後記